

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	「地域に愛され、期待に応える学校」 良好な人間関係に基づき、知力・体力の向上に努め、心豊かで元気な生徒を育成する学校。 さらに、教育活動の成果を礎に進路希望が実現できる学校。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 知力・体力の向上を目指す主体的学習態度の育成 2 豊かな心を育む基本的な生活習慣の確立 3 進路実現を図る支援の充実 4 地域・保護者との連携を深めた開かれた学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	5人
	生徒	2人
	事務局(教職員)	6人

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価 (2 月 4 日 現 在)	
年 度 目 標			年度評価 (2 月 4 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】学習姿勢は醸成されつつあるが、学習内容の理解度に不安を持つ生徒がいる。各種検定にチャレンジする生徒が増えつつある。 【課題】個に応じた学習指導と各取組の工夫により、基礎学力と学習意欲を向上させるとともに、自己肯定感を高めることが課題。	学習意欲を高め、基礎学力を向上させる。	①教員相互の授業観察と授業研究会を通じて「わかる授業」「もっと進みたくなる授業」を研究し、学力向上を目指す。 ②朝学習を推進し、学校生活のリズムを確立させ、学習習慣を身に付けさせる。 ③読書活動を推進し、読書の楽しさを学ばせ、学ぶ意欲を育成する。	①授業公開、授業研究会の実施。授業満足度の上昇。 ②朝学習の実施状況と生徒の学習習慣の向上。 ③読書活動の取組状況。	「学び直し」に取組み、3年生を中心に授業のわかる生徒が増加した。 ①外部への授業公開 2回、職員の学力向上研修会を1回実施した。11月に校内研究授業等の機会を設け授業力向上を図った。 ②各学年で生徒の実情に合わせて実施した。その中で、教科との連携等、あらたな取組みも行った。 ③「図書館だより」の定期発行、日高市図書館「ブライオトル」の参加等、図書館を通じて読書活動を啓発した。貸出冊数は生徒一人あたり 7.3 冊(貸出総冊数前年度比 27%増)であるが、読書量の個人差は大きい。	B
		積極的な学校生活を送らせ、高校生活全般にわたる満足度を高める。	①各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。 ②部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に取り組ませ、生徒の自立心と協調性を育成する。	①検定の受検と資格取得状況。 ②部活動の加入率と学校生活への満足度の上昇。	教育活動の改善により、生徒の学校生活満足度が高まった。 ①漢字検定、英語検定で補習を実施して生徒の学ぶ意欲を醸成した。商業・情報に関する資格取得状況が大幅に改善した。簿記競技会県 3 位入賞、ワプロ競技会出場など生徒の意欲を高めることができた。 ②学校生活の満足度が上昇した。部構成を復活させ、部活動への加入促進を図ったが加入率に大きな変化はなかった。	A
2	【現状】生徒会による朝の「あいさつ運動」が定着した。全体でも挨拶ができてきた。全体でも挨拶ができてきた。遅刻者が少なくない。地域貢献活動により、生徒の豊かな心の醸成を行っている。 【課題】挨拶励行・時間厳守・整理整頓などの基本的な生活習慣を確立させる。今後も地域貢献活動を積極的に取り組むことが課題。	基本的な生活習慣を確立させ、規律ある態度を身に付けさせる。	①現在のあいさつ運動を継続し、校内全体へ広がるように発展させる。校内全ての場面で挨拶を励行する。 ②タイムトリタイムを徹底し、時間厳守の大切さを教えることにより、遅刻数を減少させる。 ③頭髪服装等の身だしなみ指導、校内美化活動に取組み、落ち着いた学習生活環境を構築する。	①生徒の挨拶の取組状況。 ②時間厳守と遅刻者の減少。 ③落ち着いた学校生活環境の構築状況。	規律を守る態度が育まれたが、時間への意識は今後の課題である。 ①年間を通じて「あいさつ運動」を実施したが、挨拶を積極的に心掛けている生徒の割合は横ばいであった。 ②遅刻指導を改善し遅刻者は減少に転じたが、タイム着席を意識させるまでには至らなかった。 ③頭髪服装指導の校内基準を徹底した。生徒自身のきまりを守る意識を高めることができた。	B
		積極的な地域貢献活動への参加により、生徒の豊かな心を醸成する。	①「自分発見！高校生感動体験プログラム事業」を活用し、社会体験活動の機会を複数回設け、共に生きる大切さを理解させる。 ②地元自治体・小中学校・企業と連携を深め、ボランティア活動に取り組み、共助の心を育む。	①社会貢献活動の機会と回数、参加生徒数とその満足度。 ②地元自治体・小中学校・企業との連携回数、参加生徒の様子。	社会貢献、体験活動を進め、生徒の自己肯定感が高まった。 ①全生徒が社会貢献活動に取り組めた。BLS 研修、アドベンチャー体験の他、東北復興支援ボランティアを実施した。参加生徒の満足度は概ね高い。 ②日高市主催行事に延べ 80 名以上の生徒が参加し協力した。また企業と連携したエコキャップ運動を通年で実施した。さらに地元小学校と連携し、小学生見守り指導補助を各学期に実施した。参加生徒の意識には多少の差が見られた。	A
3	【現状】各学年で工夫した進路行事を展開している。進路未決定者がいる。 【課題】さらに工夫した進路指導により、進路未決定者を減少させることが課題。	計画的な進路指導により、進路実現を目指す。	①3年間を見通した進路計画を策定し実施する。 ②保護者対象の進路行事や情報発信の工夫により、進路に対する家庭の協力をさらに強固にする。 ③外部機関の有効活用により、生徒の進路意識をさらに高める。	①計画的、組織的な進路指導の実施。 ②保護者行事の実施と参加状況。 ③外部機関の活用状況とその効果。	組織の協働で課題を解決、就職を中心に進路決定状況が大幅に改善した。 ①各学年の実情に応じた進路計画を実施した。進路指導主事が中心となり企業訪問や各学年の指導に JST を活用、組織を生かすことができた。 ②保護者進路説明会を 2・3 年生で実施した。3 年生の保護者参加状況は特に良好であった。 ③全ての学年で外部講師を積極的に活用した。1・2 年生の生徒の進路に対する意識は高まりつつある。	A
4	【現状】中学校や地域への広報を工夫しているが、さらに学校理解度を高める必要がある。保護者に学校からの通知が届きにくいとの指摘がある。 【課題】中学校、地域に対する広報の方法をさらに工夫するなどして、生徒募集に繋げることが課題。保護者との連携をより密にとることが課題。	PTA 活動の充実と保護者の本校理解度を向上させる。	①PTA だよりを年間 3 回発行し、PTA 活動を保護者に積極的に広報する。 ②一斉配信メール及びホームページを工夫・活用して、保護者への連絡をより徹底する。 ③PTA 理事会を通じて保護者の意見を伺うとともに、保護者の学校行事への支援と参加を呼び掛ける。	①PTA だよりの発行状況。 ②一斉配信メールとホームページの改善。 ③保護者の参加状況。	PTA 活動の工夫により、保護者の本校に対する理解度は多くの項目で高まった。PTA 会長が県大会で西部地区代表として発表する機会も生かした。 ①PTA だよりを各学期に発行した。また、発行の際はその情報をホームページに掲載し、保護者への周知を図った。 ②10 月に一斉配信メールを再整備した。保護者宛の通知案内もホームページに掲載するなど情報提供の工夫改善を進めた。 ③学年別懇談会の参加者は昨年度より増加し、文化祭にも多くの保護者が来校した。PTA 理事会の出席状況も良好であり、学校行事にも多くの協力を得たが、授業公開週間等の来校者は伸び悩み課題が残った。	B
		積極的な情報発信により、本校理解度を高め、生徒募集に繋げる。	①ホームページ及び学校案内を工夫し、中学校や地域への情報発信を強化する。 ②学校説明会の時期・時間帯・回数の検討と実施、進学フェア等への積極的参加により、生徒募集に繋げる。 ③授業公開・出前授業・公開講座・日高高校だより等を通じ、地域や近隣小中学校等との連携を深めることにより、本校理解度を高める。	①ホームページの工夫と更新状況、アクセス数。 ②学校説明会の工夫と参加人数、参加者の満足度。 ③各行事の取組状況と参加者の状況。	情報発信の組織を改善し、本校理解度を高めることができた。 ①ホームページデザインを改め、教育活動を積極的に広報した。また、運営に多くの教職員が携わり、300 回以上の更新、アクセス数 50% 増となった。 ②新たに平日夕方の説明会を 2 回実施した。約 50 名の参加者があった。学校説明会での個別相談を改善し、相談件数は昨年度比 90% 増に繋がった。 ③県立学校公開講座 3 講座、市内小学生対象 8 講座(補助生徒 30 名協力)を実施した。授業公開を市内及び地域中学校 140 校に広報した。「日高高校だより」を 6 回作成、配布先は地域の中学校を中心に 102 箇所重点化した。7 月に日高市役所の本校掲示板を復活、掲示物を 5 回更新した。	A

学校関係者評価
実施日 平成 28 年 2 月 15 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
・授業で積極的に挙手して発言する生徒がいるなど授業態度は概ね良好と思う。集中を欠いている生徒も一部には見られた。 ・見学した授業は一斉授業であったがグループ学習も見たい。 ・学び直し・朝学習・資格取得などの取組みは素晴らしい。生徒に成功体験を味あわせている。これらが将来に役立つことをさらに生徒に伝えてほしい。 ・部活動に取り組む姿は地域からも目に付きやすい。さらに活発になるよう望む。
・廊下等は清掃が行き届いているが、教室の整理整頓はクラスによりかなり差があった。同様に、服装や頭髪に課題がある生徒が一部に見られた。 ・お昼頃に遅刻して登校する生徒は地域から見ても目立つ。生徒会でも遅刻減少に向けて取り組んでもらいたい。 ・地域貢献活動等は素晴らしい。生徒は社会の中の学校を認識できる。さらに多くの活動機会を設けられればよい。
・積極的な生徒へのアプローチにより、進学・就職ともに順調に進んでいる。 ・進路未決定者が大幅に減少した。今後もぜひしっかりと取り組んでもらいたい。
・HP の充実が目覚ましい。情報発信への情熱を感じる。地域で「日高高校はよくなっている」という話題が出た。さらなる広報の充実を望む。 ・HP を見ない人のために、日高高校だより等を地域に回覧すると良い。また日高高校だよりに「生徒の声」を載せるとよい。生徒会で「生徒会だより」をつくっても良い。 ・高校は通学範囲が広いので遠方の保護者は来校しづらい面もある。駅からの近さや駐車スペースを伝えることにより来校者がさらに増えるのではないかと。

